

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛知県

行事名称	文化財消防訓練「亀崎潮干祭の山車行事」(重要無形民俗文化財)
実施期間・日時	令和8年2月1日(日)午前10時から
実施場所	半田市亀崎町一丁目26番地(神前神社社務所・東組宮本車山車蔵)
主催者	知多中部広域事務組合(半田消防署)

■実施内容

訓練の想定

亀崎町一丁目地内、神前神社社務所の周辺から不審火により出火し、隣接する指定文化財の東組宮本車が収納されている山車蔵(以下「山車蔵という。)」に延焼拡大の可能性がある火災が発生した。

訓練の内容

亀崎潮干祭保存会関係者による119番の訓練通報と初期消火訓練の実施後、消防団及び消防署による放水訓練を実施する。

参加者及び役割分担

- 1 亀崎潮干祭保存会(10名): 119番通報訓練、初期消火訓練、文化財持出訓練
- 2 半田市消防団4車両(40名): 放水訓練
- 3 半田消防士署3車両(20名): 実施要領作成、放水訓練、指導及び講評
- 4 半田市教育委員会(4名): 講評

特に工夫した点

亀崎潮干祭保存会及び文化財関係者、亀崎南分団を始めとする地元消防団など、多くの方々が参加する文化財消防訓練が実施できるように、早期より訓練参加募集に努めた。

問題点・課題

消防訓練の実施場所は、神前神社や重要文化財保存施設などの重要施設であり放水による破損が懸念されたため、施設への直接の放水は避けて真上への直上放水を実施しなければならなかった。

その他

文化財防火デーに合わせて、消防訓練を実施することで、文化財保存団体、消防団、地域住民の防火を高めることができた。

来年以降も引き続き、訓練の継続に努めていきたい。

訓練風景



消火器での初期消火
(亀崎潮干まつり保存会)



延焼回避のため文化財持出
(亀崎潮干まつり保存会)



一斉放水
(半田市消防団・半田消防署)

文化財防災訓練等実施状況写真（亀崎潮干祭りの山車行事）

令和8年2月1日実施



消火器での初期消火（亀崎潮干祭保存会）



延焼回避のため文化財持出（亀崎潮干祭保存会）



消防車到着（半田市消防団）



水槽車到着（半田消防署北出張所）



消防用ホース延長（消防団・消防署）



一斉放水開始（消防団・消防署）



一斉直上放水（消防団・消防署）



訓練講評（消防長・保存会長・教育長）